

目 次

〔学会設立10周年にあたって〕

「環日本海学会」創設の初心

渋谷 武 (第1期会長) 1

「環日本海学会」設立前後の回想

山村 勝郎 (第2期会長) 3

環日本海学会の10年と今後

本多 健吉 (第3期会長) 7

Sub-regionalism 研究の現状と環日本海学会

多賀 秀敏 (第4期会長) 11

〔投稿論文〕

東北アジアの環境ガバナンスと市民社会

— NGO/NPOの台頭とそのトランスナショナルなネットワークに注目して —

五十嵐誠一 (日本学術振興会特別研究員) 16

欧州越境広域ランドデザインのジオガバナンス的分析

— 欧州大陸におけるスペイシャルプランニング「CEMAT基本理念」とEU地域政策における「ESDP」の比較研究 —

柑本 英雄 (弘前大学) 39

韓国の技術発展と日韓貿易構造の変化

鄭 承衍 (韓国・仁荷大学校) 63

東アジア経済共同体構想の政治的位相

森川 裕二 (早稲田大学大学院生) 78

〔特別寄稿論文〕

Chinese Perspective of Globalization

Jung-Dong Park (University of Incheon, KOREA) 97

〔第10回研究大会報告要旨〕

第10回記念学術研究大会 (東洋大学) の概要

佐々木宏茂 (大会実行委員会委員長) 113

第1分科会：政治・経済

1. 北東アジアにおける国境をまたぐ地域の地域開発に関する一考察
金子 彰（東洋大学）
小俣 菜菜（東洋大学大学院卒業生）…………… 114
コメント 佐々木宏茂（東洋大学）
2. EUの東方拡大と下位地域協力 ―南東欧安定条約をめぐる―
高橋 和（山形大学）…………… 116
コメント 小山 洋司（新潟大学）
3. ASEAN主導の東アジア地域主義 ―東北アジアの視座―
―ASEAN+3、FTAのマルチラテラリズム
森川 裕二（早稲田大学大学院生）…………… 118
コメント 宍戸駿太郎（環日本海経済研究所）
4. 気候変動問題をめぐる国際政治
野口 剛嗣（早稲田大学大学院生）…………… 119
コメント 若月 章（新潟女子短期大学）

第2分科会：環境・開発・自然・エネルギー分野

1. アジア環境白書：環日本海地域の環境協力章を起筆して
龍 世祥（富山大学）
桂木 健次（福岡工業大学）…………… 122
コメント 久留島守広（東洋大学）
2. 地球エコシステムとしての地中隔離 ―CO₂分離・地中隔離・植物工場の導入―
久留島守広（東洋大学）…………… 123
コメント 桂木 健次（福岡工業大学）
3. 日本古来の人魚、リュウグウノツカイの生物学
本間 義治（新潟大学）…………… 126
コメント 大海原 宏（福井県立大学）

第3分科会：社会・観光・文化

1. 観光産業におけるXMLの適用について
浦山 重郎（中央大学）…………… 128
コメント 小浪 博英（東京女学館大学）
2. 日本海沿岸諸都市の観光振興に関する考察
小浪 博英（東京女学館大学）…………… 130
コメント 戸沼 幸市（早稲田大学）
3. 中国東北三省の国際観光市場に関する考察
梁 春香（東洋大学）
宇佐美信幸（東洋大学大学院生）…………… 133
コメント 野村 允（金沢星陵大学）

4. 北東アジアにおける観光教育	
佐々木宏茂（東洋大学）	137
コメント 松園 俊志（東洋大学）	

第4分科会：地域連携・評価

1. 中国のグローバリゼーションについて	
Jung-Dong Park（University of Incheon, KOREA）	140
コメント 三村 光弘（財団法人環日本海経済研究所）	
2. ロシアにおける勘定科目表	
齋藤久美子（和歌山大学）	140
コメント 荒井 信雄（札幌国際大学）	
3. リージョナル・アイデンティティ	
ラマシェバ・ユーリヤ（新潟大学大学院生）	142
コメント 高橋 正樹（新潟国際情報大学）	
4. 1980年代中国労働力移動について	
楊 世英（東北学院大学）	146
コメント 坂田 幹男（福井県立大学）	
5. 新しい産官学—地域連携のあり方と大学・地域の役割	
—京都・まいづる立命館地域創造機構の挑戦—	
山田 一隆（大学連携センター 京都・まいづる立命館地域創造機構）	149
コメント 林 堅太郎（立命館アジア太平洋大学）	

第5分科会：歴史

1. 渤海国旅遊路の開発整備に関する研究（その3）	
青木 雅明（東洋大学）	153
コメント 金 光林（新潟産業大学）	
2. 高句麗史の帰属をめぐる韓国・朝鮮と中国の論争	
金 光林（新潟産業大学）	156
コメント 熊田 亮介（秋田大学）	

環日本海学会会則	160
『環日本海研究』編集要綱	162
『環日本海研究』執筆要綱	163
役員：理事会／事務局／編集委員会	165
編集後記	166